

○お申込み方法:FAX、メール、電話(※)でのお申し込みを受け付けます。

当センター研修会のお申し込みは、以下のいずれかよりお申し込み下さい。

- ・ホームページ <https://www.kumamotos.johas.go.jp/FormMail/session/index.php>
- ・TEL:096-353-5480/FAX:096-359-6506

※電話でのお申し込みの方は、後日申込書(ホームページから[研修会のご案内]
[参加申込フォーム])の送付(送信)をお願いします。

※(研修会ご参加時の留意事項について)必ずご一読ください。
<https://kumamotos.johas.go.jp/documents/caution.pdf>

[]内は、日本医師会認定産業医研修の対象研修の単位です。

<<■■■■■令和元年11月の予定■■■■■>>

日 時:11月1日(金)14:00~16:00

研修テーマ:過重労働対策について(嘱託産業医の立場から)

内 容:長時間労働は是正されても過重労働の実態までは容易に解決できません。メンタルヘルスと密接な絡みを持ち、中小企業では大きな課題です。ストレスチェックだけでは汲み上げられない問題に対して、理想とは言えないまでも現実的な対策を事例を通して考えます。

講 師:野波善郎

日 時:11月15日(金)14:00~17:00【定員:6名】

研修テーマ:傾聴訓練(入門編)

内 容:業務上の様々な場面において(相談業務や面談等)役に立つ「聴く」ことを体験を通じて学びます。

講 師:島村佳子

日 時:11月15日(金)18:00~20:00[専門2]

研修テーマ:口腔がんと術後就労支援

内 容:口腔のこと(口腔衛生、就労者の口腔管理)
癌治療における口腔支持療法
口腔がん
術後の就労支援の症例

講 師:平島惣一

日 時:11月19日(火)18:30~20:30[専門2]

研修テーマ:労働衛生工学入門編:新しい参加型産業保健活動のかたちを学習しよう
-ILO WiSE型作業改善トレーニングプログラムの体験-

内 容:まず講義形式で、労働衛生工学の基本を学び、それを踏まえて、研修担当者が例示した製造工場事例について、作業安全・衛生の課題の発見とその改善策を、ILO WiSE型トレーニングプログラムを用いて、グループワーク形式で演習する。

講 師:上田厚

日 時:11月20日(水)14:00~16:00【菊池郡市医師会立病院】

研修テーマ:イキイキした職場環境づくり ~これからはじめる職場環境改善~

内 容:スライドを利用した講義、グループワーク、グループ発表

講 師:東本君子

日 時:11月22日(金)18:30~20:30【玉名市民会館 第3会議室】[更新2]

研修テーマ:粉じん・石綿ばく露防止対策

内 容:粉じんにさらされる労働者の健康障害を防止するため、設備、作業方法、保護具の使用及び管理などを労働衛生管理の観点から学びます。また、石綿ばく露防止についても事前調査、ばく露防止措置、管理の問題点など紹介します。

講 師:土山洋之

日 時:11月29日(金)18:30~20:30

研修テーマ:人事労務担当者のための産業保健講座

内 容:衛生管理者や人事労務担当者を対象に産業医や産業保健スタッフとの連携、衛生委員会の効果的運用方法を考えます。

講 師:古海勝彦

<<■■■■■令和元年12月の予定■■■■■>>

日 時:12月3日(火)18:30~20:30[専門2]

研修テーマ:農作業の安全・健康を考える

ー農作業に起因するアレルギー疾患の発生とその予防ー

内 容:農業従事者の産業保健的な課題を学習し、それを踏まえて、農作業に起因するアレルギーの本態とその予防対策について考える。

講 師:上田厚

日 時:12月13日(金)14:00~16:00

研修テーマ:喫煙の健康被害と禁煙指導について

内 容:本研修では、喫煙(受動喫煙)の健康影響について、国内外の報告をもとに考える。また、禁煙支援について学ぶ。

講 師:大森久光

日 時:12月16日(月)14:00~16:00

研修テーマ:衛生管理者の役割

内 容:・衛生管理者の役割 ・作業環境の改善 ・SDSの活用、法改正情報 ・マネジメントシステムの活用

講 師:岩男周二

日 時:12月18日(水)14:00~16:00

研修テーマ:職場のパワーハラスメント対策について

内 容:職場のパワーハラスメント対策について、グループ討議を通じて、その対策に考える。

講 師:熊本労働局雇用機会・均等室

熊本産業保健総合支援センターから『産業保健に関する質問募集』のお知らせ！

会社の衛生管理の担当者に選任されたが、衛生管理活動をどう進めたらいいか、社内でメンタルヘルス対策を進めたいがどう対応したらいいのかわからない等といったことでお悩みではありませんか。

当センターでは、メンタルヘルスや健康管理など産業保健に関する様々な問題について、専門スタッフがご相談に応じ、解決方法を助言します。今お悩みのこと、疑問に思っていることがありましたら以下のいずれかの方法でご相談下さい。相談はすべて無料です。相談により知り得た情報等は厳守します。

- ・ホームページ:<https://www.kumamotos.johas.go.jp/FormMail/soudan/index.php>
- ・メール:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp
- ・FAX:096-359-6506/TEL:096-353-5480

尚、電話、FAX、メール等ご希望の方法で、必ず回答いたします。
回答先及び回答方法は以下の通りです。

- ・ご希望回答方法(電話・FAX・メール・郵便)
- ・住所等
- ・会社名
- ・担当者名
- ・電話番号

- ・FAX番号
- ・メールアドレス
- ・メルマガ配信希望(メールアドレス)

◇ _____
いろいろなお知らせ

◆研修会・セミナー・説明会

(1) 治療と仕事の両立支援シンポジウム【熊本2019.11.28】開催

この度のセミナーでは「治療と仕事の両立支援」の具体的な進め方や留意すべきポイント、もたらす効果などについて、企業と医療機関の皆さまにわかりやすくご紹介いたします。ぜひご参加ください。

日程 2019年11月28日(木) 13:15 ~ (12:30 ~ 受付開始)
定員 200名(入場無料)
会場 くまもと県民交流館パレア
住所 熊本市中央区手取本町8-9

内容

●基調講演 治療と仕事の両立支援に向けて
村本高史氏 サッポロビール株式会社 人事部 プランニング・ディレクター

●取組事例紹介(企業・医療機関)
白鷺電気工業(株)
(有)一の宮タクシー
熊本労災病院
国保水俣市立総合医療センター

●熊本産業保健総合支援センターからのご案内

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20191029101700.html>

(2) 産業保健研修会「口腔がんと術後就労支援」開催

口腔外科受診される方も増加し、今や多くの方が関心を持ちはじめた「口腔がん」ですが、今回、本センターでは11月15日(金)18:00から「口腔がんと術後就労支援」をテーマに研修を開催いたします。

1. 開催日時: 令和元年11月15日(金) 18:00~20:00
2. 会場: 熊本産業保健総合支援センター
3. 講師: 熊本産業保健総合支援センター 産業保健相談員
産業医科大学病院 歯科口腔外科 博士 平島 惣一
4. テーマ: 『口腔がんと術後就労支援』
口腔のこと(口腔衛生、就労者の口腔管理)、
癌治療における口腔支持療法、
口腔がん、術後の就労支援の症例
5. 定員: 25名程度
6. 参加費: 無料
7. 対象者 産業医、産業保健師、衛生管理者、人事労務担当者、
産業保健スタッフ等その他ご興味がある方

※この研修は日本医師会認定産業医制度指定研修【専門2単位】で申請中です。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190927172406.html>

(3) 第13回じん肺診断技術研修の開催

「じん肺診断技術研修」は、じん肺健康診断に従事する医師として必要な法制度の知識及び専門技術を修得することを目的としています。
令和元年度の「じん肺診断技術研修」は令和2年2月13日(木)・14日(金)に開催いたします。

第13回じん肺診断技術研修

実施機関等

主催 独立行政法人労働者健康安全機構
後援 一般社団法人日本職業・災害医学会

令和2年2月13日(木)から14日(金)までの2日間

開催場所

独立行政法人労働者健康安全機構本部 1階大会議室

所在地 〒211-0021

神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

TEL 044-431-8641 (問合せ先: 勤労者医療課)

研修日程

「第13回じん肺診断技術研修日程表」のとおり

募集人数 40名

受講資格 じん肺健康診断等に携わる医師

受講料 37,000円 納付方法は受講案内時に御連絡いたします

申込み・詳細について【独立行政法人 労働者健康安全機構ホームページ】
www.johas.go.jp/index/tabid/595/Default.aspx?itemid=867&dispmid=1466

(4) リワーク支援説明会のご案内

リワークとは「復職」のReturn to work を意味します。うつ病などにより、休職されている社員の方に対し、各種プログラムの受講を通して、復職に向けたウォーミングアップの取組みを進めていただけるようにするとともに、事業所の方に対しては、復職に係る専門的な助言や援助を行うことにより、円滑に復職できるように支援を熊本県障害者職業センターでは行っています。

なお、支援のご利用にあたっては、休職されている社員の方、職場復帰予定の事業所、主治医の3者からリワーク支援の実施について合意を得ることが必要になります。

http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/kumamoto/43_kumamoto_service2.html

◆ 当センター及び機構本部からのお知らせ

- (1) 令和元年度 産業保健関係助成金について
令和元年度産業保健関係助成金について、掲載しました。
職場環境改善助成金については、7月1日から新しく変わります。
詳細は、ホームページからご確認ください。
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190527164206.html>
- (2) 産業保健総合支援センターの取り組みについてご紹介します。
産業保健総合支援センターの取り組みについて紹介動画を作成いたしました。
産業保健総合支援センターを「のんさん」が紹介します！
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190409163000.html>
- (3) サラリーマン金太郎が「治療と仕事の両立支援」に取り組みます！
もしも「サラリーマン金太郎」が中小企業の社長だったら…
当機構と「サラリーマン金太郎」特別コラボマンガ掲載中
治療と仕事の両立支援について、サラリーマン金太郎が取り組みます！
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190507151835.html>
- (4) 研修教材「これからはじめる職場環境改善～スタートのための手引～」
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20181206153805.html>
- (5) 【ストレスチェック制度】高ストレス者に対する面接指導視聴覚教材掲載
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/documents/H30/johas20180514.html>
- (6) 治療と仕事の両立支援ポータルサイト公開
独立行政法人 労働者健康安全機構では、「治療と仕事の両立支援ポータルサイト」をこのたび開設しました。支援制度や事例、様式集、法令制度や全国の研修情報など多種にわたる情報を提供しております。
https://www.kumamotos.johas.go.jp/ryouritsu/ryouritsu_topix.htm
- (7) 地域産業保健センターのご案内（全て無料です）
<https://kumamotos.johas.go.jp/chiiki.htm>
- ・阿蘇地域産業保健センター
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
 - ・有明地域産業保健センター
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-72-3930
 - ・天草地域産業保健センター
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
 - ・菊池鹿本地域産業保健センター
Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
 - ・熊本地域産業保健センター
Tel 096-366-2711 Fax 096-366-2750
 - ・人吉球磨地域産業保健センター
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
 - ・八代水俣地域産業保健センター
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532
- (8) 新入社員や20代の若手職員を対象とした「メンタルヘルス対策教育研修」
新入社員や若手職員など、仕事をしていく上で大きな負荷を抱えやすい若年労働者・新入社員に対してセルフケアを促進するための教育を無料で支援を実施しております。
<https://kumamotos.johas.go.jp/shien/index.html>
- (9) 医療情報サイト「メディカルノート」における両立支援特集ページ掲載
病気と向き合いながら仕事を続けたい方をサポートする

当機構における両立支援の取組について、医療情報サイト「医師・病院と患者をつなぐ医療検索サイト メディカルノート」に特集記事が掲載されました。

各産業保健総合支援センター・労災病院においての両立支援の活動・取組、両立支援コーディネーターについてインタビュー形式で読みやすいので、ぜひご一読ください。

熊本では、熊本労災病院で実際に心不全の治療を受けながら、仕事に取り組む職員の実例をもとに両立支援のポイントを解説しております。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190717130942.html>

◆労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

『作業関連疾患』

上肢等（後頭部、頸部、肩甲帯、上腕、前腕、手及び指）に過度の負担のかかる業務によって発生した運動器の障害を「上肢障害」と呼びます。

厚生労働省の「上肢作業に基づく疾病の業務上外の認定基準について」によれば、代表的なものとして、上腕骨外（内）上顆炎、肘部管症候群、回外（内）筋症候群、手関節炎、腱炎、腱鞘炎、手根管症候群、書痙、書痙様症状、頸肩腕症候群などが例示されています。

近年のパソコン等を用いた業務の増大により、上肢の作業関連疾患が多くなっていると予想されること、上肢障害を来す疾病のうち最も発生数が多いこと、診断が比較的容易で明確であることから、上肢障害のひとつである「手根管症候群」について、その病因が業務によるものか加齢によるものかなど、発症要因の分析を行いました。

※研究の詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.research.johas.go.jp/sagyou/thema01.html>

『職業性外傷』

■「職業性外傷」と本研究について

産業現場での外傷は、部位としては上肢から指先にかけての損傷が多いです。特に手の外傷の場合、切断やデグロービング損傷など広範囲・または重度な損傷になることが少なくありません。繊細な知覚を有する手が外傷により使用不可能になると、労働者にとって大きな影響を及ぼします。

そこで、重度の損傷を負った患者に適切な治療を早期から行い、損傷された手の機能を最大限に回復させるため、研究を行いました。

■研究成果について

症例について受傷後の経過や、復職時期、職場復帰レベルなどのデータ集積を行い、重症度や受傷範囲などによってスコア化を行いました。

その結果、スコア化によって治癒後の手の機能や職場復帰の状態の予測が可能であり、また皮膚や神経損傷の組織修復が機能回復上重要であることがわかりました。

職業性外傷に対する外傷発生時の対応・治療法や詳しい研究内容は、「労災疾病等研究普及サイト」をご覧ください。

第1期研究（平成16年～20年）

→ <http://www.research.johas.go.jp/gaisho/>

第2期研究（平成21年～25年）

→ http://www.research.johas.go.jp/22_gaisho/index.html

◇ 主な行政の動き

【厚生労働省】

(1) 11月は「過労死等防止啓発月間」です

～過労死等防止対策推進シンポジウムや過重労働解消キャンペーンなどを実施～

厚生労働省では、11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過労死等をなくすためにシンポジウムやキャンペーンなどの取組を行います。

この月間は「過労死等防止対策推進法」に基づくもので、過労死等を防止することの重要性について国民に自覚を促し、関心と理解を深めるため、毎年11月に実施しています。

月間中は、国民への周知・啓発を目的に、全国48会場で「過労死等防止対策推進シンポジウム」を行うほか、「過重労働解消キャンペーン」として著しい過重労働や悪質な賃金不払残業などの撲滅に向けた監督指導や無料の電話相談などを行います。

※「過労死等」とは・・・業務における過重な負荷による脳血管疾患もしくは心臓疾患を原因とする死亡、もしくは業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡またはこれらの脳血管疾患、心臓疾患、精神障害をいいます。

厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177422.html>

(2) 「令和元年版 労働経済の分析」を公表

厚生労働省から、「令和元年版労働経済の分析」を公表されました。

「労働経済白書」は、一般経済や雇用、労働時間などの現状や課題について、統計データを活用して分析する報告書で、今回で71回目の公表となります。

長時間労働やそれに伴うストレス・疲労の蓄積などは、職場における働きやすさや働きがいへの影響を与えている可能性があります。昨今の人手不足感の高まりが、こうした傾向を強めている可能性も考えられます。このような状況も踏まえ、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて、働く方一人ひとりが柔軟な働き方を選択でき、仕事のパフォーマンスを向上させながら、いきいきと働き続けられる環境整備を推進していくことが重要です。

このような問題意識から、今回の「労働経済白書」では、人手不足下における「働き方」について、「働きやすさ」と「働きがい」の観点から分析を行いました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20191002150645.html>

(3) 無料の電話相談「過重労働解消相談ダイヤル」を実施

厚生労働省では、10月27日に、都道府県労働局の職員による無料電話相談「過重労働解消相談ダイヤル」を実施します。

これは、著しい過重労働や、悪質な賃金不払残業などの撲滅に向けた取組を行う「過重労働解消キャンペーン」の一環として行うものです。この相談ダイヤルでは、過重労働をはじめとした労働問題全般にわたる相談を受け付けており、労働基準法や関係法令の規定・考え方の説明や、相談者の意向を踏まえた管轄の労働基準監督署への情報提供、関係機関の紹介など相談内容に合わせた対応を行います。

昨年11月4日に実施した際には、501件の相談が寄せられました。相談の中で1番多かったのが長時間労働・過重労働で204件、続いて賃金不払残業が173件でした。

今回の相談結果は、11月下旬頃に公表する予定です。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20191024112939.html>

(4) パワーハラスメント対策導入マニュアル(第4版)が掲載
あかるい職場応援団ホームページに、パワーハラスメント対策導入マニュアルが新しくなり第4版が掲載されました。

パワーハラスメント対策に取り組む企業が参考にできるよう、取組のポイントを解説され、研修資料やアンケート用紙など、取組に必要な参考資料を豊富に収録されている内容です。
社内のハラスメント対策にご活用ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20191024114037.html>

編集後記

11月28日(木)に熊本で治療と仕事の両立支援シンポジウムが開催されます。
今回、基調講演は「治療と仕事の両立支援に向けて」をテーマにサッポロビール株式会社人事部プランニング・ディレクター 村本高史氏に登壇いただきます。
また、取組事例紹介として、白鷺電気工業株式会社様、有限会社一の宮タクシー様、熊本労災病院、国保水俣市立総合医療センターから発表いただきます。
昨年度、今年度と「両立支援コーディネーター基礎研修」を熊本で開催し、事業場でも両立支援コーディネーターを受講される担当者も増え、徐々に治療と仕事の両立支援の認識が広がってきているように感じられます。
このシンポジウムで、どのような体制づくりを構築されているのか拝聴できるのが楽しみです。

=====
●次回の第147号は令和元年12月2日に配信予定です。

編集内容等に関するご意見・お問合せなどをお寄せください。
またメールアドレスの変更の場合は件名に[メルマガアドレス変更希望]、
配信停止希望の場合は、[メルマガ配信停止希望]等ご記入の上
ksanpo43@kumamotos.johas.go.jpへお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター
〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階
TEL:096-353-5480 FAX:096-359-6506
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/>
E-Mail:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp
